

平成24年度警察庁補正予算（案）の概要

1 追加額 65,175百万円

2 内 容

(1) 復興・防災対策 32,849百万円

ア 警察情報通信ネットワークの耐災害性の向上
23,829百万円

バックアップ施設等の通信機能の確保 20,536百万円
警察本部が機能を喪失した場合におけるバックアップ（代替）施設に係る通信機能の確保や、警察情報通信ネットワーク（支線）の整備等に要する経費

大規模災害発生時における映像伝送、警察無線の確保
1,202百万円
災害現場等の現場映像を首相官邸、警察本部等に伝送するためのヘリコプターテレビシステム等の整備に要する経費

老朽化の著しい無線中継所の建替え 2,091百万円
警察情報通信ネットワークを構成する無線中継所の建替えに要する経費

イ 災害・テロへの対処能力の向上 6,019百万円

広域緊急援助隊等の車両、装備資機材の充実 5,291百万円
大規模災害における広域緊急援助隊等の緊急出動用災害対策車や救出救助用資機材、重要施設や国境離島の警備に必要な防護用資機材その他の装備資機材等の整備に要する経費

機動隊施設の設備等の充実 190百万円
機動隊の部隊活動を常時可能とするための、車両用燃料給油施設等の整備に要する経費

	信号機電源付加装置の整備	538百万円
	災害対策上重要な交差点の信号機に、停電時でも電力を供給できる自動電源付加装置の整備に要する経費	
ウ	警察施設・交通安全施設の老朽化対策	3,001百万円
	警察施設の耐震性強化等の改修	1,172百万円
	耐震性の低い警察署の耐震化や機動隊訓練施設の改修等に要する経費	
	老朽信号柱の建替え	1,829百万円
	倒壊のおそれのある信号柱の更新整備に要する経費	
(2)	暮らしの安心・地域活性化	32,326百万円
ア	サイバー空間の安全確保	821百万円
	サイバー犯罪・サイバー攻撃への捜査態勢の強化	821百万円
	遠隔操作を可能とする新種のコンピュータ・ウイルスを利用した新たな犯罪の発生等を踏まえ、取締体制の強化に必要な資機材の整備に要する経費	
イ	交通安全対策の推進	8,545百万円
	通学路の安全確保対策	1,031百万円
	通学路の緊急合同点検結果に基づく交通安全対策に必要な交通安全施設の整備に要する経費	
	安全運転支援技術の確立による交通安全対策	6,499百万円
	心理的ゆとりのある自動車運転につながる信号情報を提供する安全運転支援技術を確立するための実証実験に要する経費	
	信号灯器のLED化	1,015百万円
	交通事故の抑止効果の高い信号灯器のLED化に要する経費	

ウ 警察機動力及び装備資機材の整備 22,960百万円

暴力団対策における保護対策等の強化 1,413百万円
暴力団犯罪の捜査や保護対策等に必要な監視カメラの整備に要する経費

DNA型鑑定体制の強化 944百万円
被疑者資料の大量一括処理を可能とする鑑定資機材の整備に要する経費

警察機動力の整備 13,886百万円
警察活動を迅速かつ的確に行うために必要な警察用車両・航空機・船舶の整備に要する経費

鑑識・鑑定資機材等の整備 6,717百万円
科学捜査力の一層の高度化を図るための鑑識・鑑定資機材等の整備に要する経費